



北 京 公 使 館 在 支 館 墓 地 回 收 實 施 二 關 スル 取 縱 調 印
三 際 公 使 館 在 支 大 使 發 外 交 部 長 宛 公 文

以書翰啓上致候。陳者、北京公使館區域回収ニ關シ本日閣下ト本使
トノ間ニ其ノ實施ニ關スル取締ノ調印ヲ了スルニ至リタルハ本使ノ
最モ欣快トスル所ニ有之候。

此ノ機會ニ本件回収實施ニ關聯シ日本側ノ希望並ニ見解ヲ左ニ申述

フルノ光榮ヲ有シ候。

一、公使館區域回収ニ伴ヒ帝國政府又ハ臣民カ有スル當該地域内土地
ニ關スル權利（所有權）ハ之ヲ更改スル要アル處、右權利（所有
權）ハ之ヲ永租權トシテ御確認相成様致度ク、右確認ノ爲ノ地券
發給等ノ手續ハ本件更改力公使館區域回収ニ必然的ニ隨伴スルモ

ノナルニ鑑ミ、無償又ハ實費ヲ以テ御處理相成ルコトト致度シ。

尙前項土地ニ對スル地租ニ付テハ、取締第三條ニ據リ、治外法權
ニ基ク課稅問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄、現狀ヲ維持スルコトト致
度シ。但シ了解事項六ニ據リ日本側ニ於テハ中國側ノ財政負擔ヲ
増加セシメサランカ爲寄附金ヲ提供スル用意アリ。

二、回収實施後當該地域ハ之ヲ特別行政區トスルコトナク北京特別
市ノ一般行政組織ニ編入スルコトト致度シ。

三、右地域内在住帝國臣民ノ居住、營業及禦祉等ニ關シテハ了解事
項五ニ於テ中國側ニ於テ從前ノ程度ヲ維持スヘキコドヲ保障相
成居ル處現在右地域外ニ居住スル帝國臣民ハ極メテ多數ニ上ル
實情ニシテ、右現狀ハ中國側ニ於テモ之ヲ御承知ノ上之力保護

ニ關シ充分御配慮相成様致度シ。

隙地ノ使途ニ關シテハ右力在住者ノ福祉ニ關係スルコト大ナルモノアルニ鑑ミ從來ノ慣行ヲ尊重シテ御措置相成様致度シ。

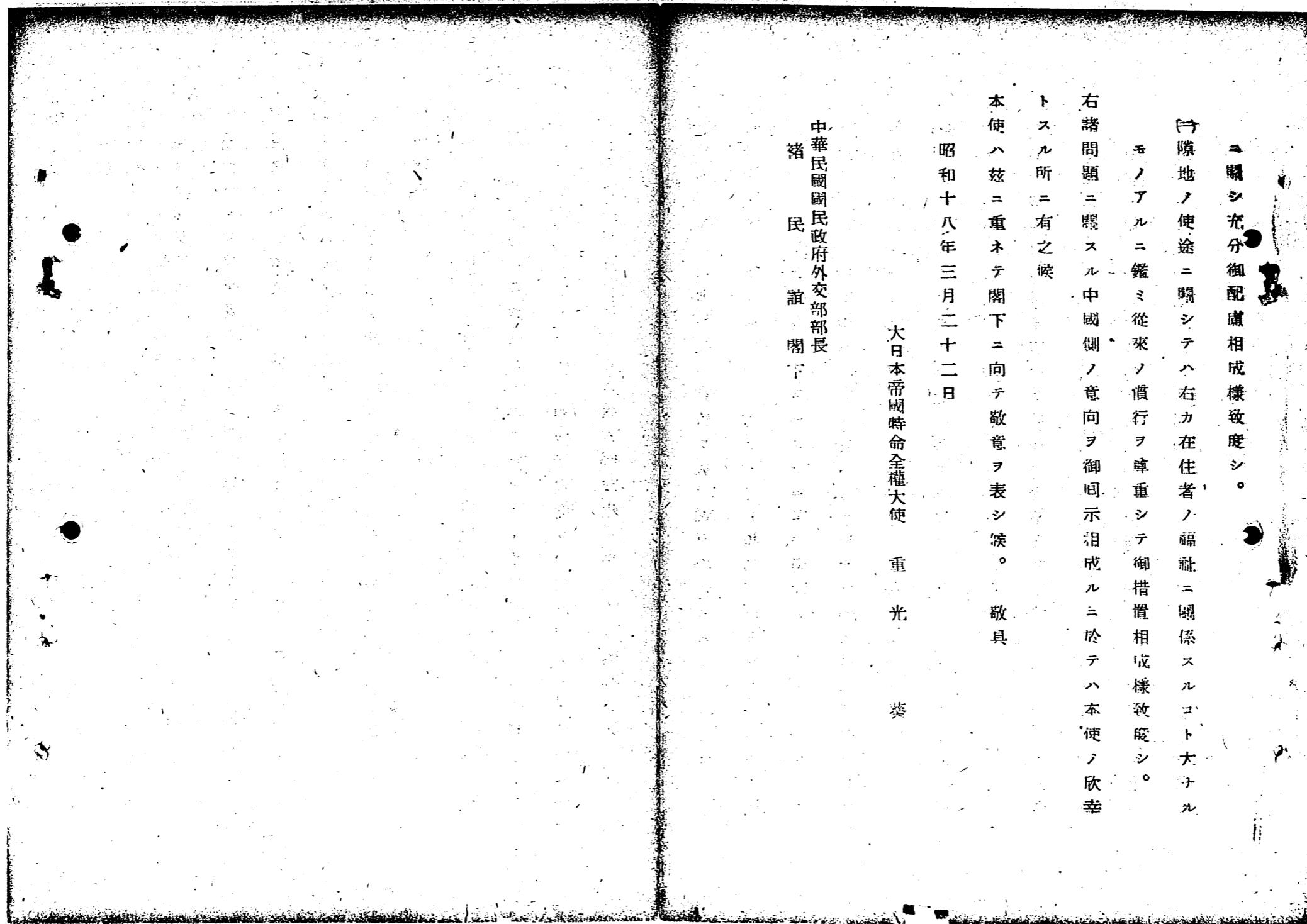
右諸問題ニ關スル中國側ノ意向ヲ御回示相成ルニ於テハ本使ノ欣幸トスル所ニ有之候

本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。 敬具

昭和十八年三月二十二日

大日本帝國特命全權大使 重光葵

中華民國國民政府外交部部長
褚民誼 閣下



REEL No. A-1215

0123

アジア歴史資料センター

北京公使館區域回收實施ニ關スル取締印ニ
際シ外交部長發在支大使宛公文邦譯文

以書翰啓上致候陳者本日附貴翰ヲ以テ「北京公使館區域回收ニ關シ
本日貴部長ト本使トノ間ニ其ノ實施ニ關スル取締ノ調印ヲ了スルニ
至リタルハ本使ノ最モ欣快トスル所ニ有之候

此ノ機會ニ公使館區域ノ回收實施ニ關聯シ日本側ノ希望及見解ヲ左
ニ申述ヘ候。

一、公使館區域回收ニ伴ヒ日本政府及臣民カ有スル當該地域内土地ニ
關スル權利（所有權）ハ之ヲ更改スル要アル處、右權利（所有權）
ハ之ヲ永租權トシテ確認相成様致度ク、右確認ノ爲ノ地券發給等
ノ手續ハ本件更改カ公使館區域回收ニ必然的ニ隨伴スルモノナル

ニ鑑ミ、無償又ハ實費ヲ以テ處理相成ルコトト致度シ。

尙前項土地ニ對スル地租ニ付テハ、取極第三條ニ據リ、治外法權
ニ基ク課稅問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄、現狀ヲ維持スルコトト致
度シ。但シ了解事項六ニ據リ日本側ニ於テハ中國側ノ財政負擔ヲ
増加セシメサランカ爲寄附金ヲ提供スル用意アリ。

云々回収實施後當該地域ハ之ヲ特別行政區トスルコトナク北京特別
市ノ一般行政組織ニ編入スルコトト致度シ。

四、右地域内在住帝國臣民ノ居住、營業及福祉等ニ關シテハ了解事
項五ニ於テ中國側ニ於テ從前ノ程度ヲ維持スヘキコトヲ保障相
成居ル處現在右地域外ニ居住スル日本國臣民ハ極メテ多數ニ上
ル實情ニシテ、右境狀ハ中國側ニ於テモ之ヲ承知ノ上之カ保護

ニ關シ充分配慮相成様致度シ。

同隙地ノ使途ニ關シテハ右カ在住者ノ福祉ニ關係スルコト大ナル
右以王諸點蓋都長三於元御承知の上中國側ノ意向ヲ御示相成度旨
御照會ノ次第有之關悉致候。正スルニ貴國側カ我國ノ北京公使館區
域ノ回教ニ同意セラレタルハ國民政府ノ感謝ニ堪ヘサルトコロニ有
之。御來照ニ記述ノ各節ハ固ヨリ贊同スルトコロニ有之候。

右回答等本部長ハ茲ニ重ネテ貴大使ニ向ツテ務意ヲ表シ候、敬具
中華民國三十二年三月二十二日

外交部長 諸 民 證 (署名)

大日本帝國駐華
特命全權大使 東光

REEL No. A-1215

0131

アジア歴史資料センター

極秘

專管租界還付實施ニ關スル細目取極調印ニ關シ
在支大使發外交部長宛公文

以書翰啓上致候。駿者、中華民國ニ於ケル帝國專管租界ノ還付ニ關シ本日日韓兩國委員會ニ於テ其ノ實施細目取極ノ調印ヲ了スルニ至タルハ本使ノ最モ欣快トスル所ニ有之候。

中華民國ニ於ケル外國租界ノ撤廢ハ貴國朝野多年ノ要望ニ係ルモノナル處、今回吾國政府カ其ノ專管租界全部ヲ還付スルニ至レルハ貴國力東亞ノ一翼トシテ自主發展ヲ遂ケ帝國ト相携ヘテ東亞ノ復興建設ニ邁進ヒラレンシコトヲ冀念スルノ衷情ニ出テタルニ外ナラス。本使ハ貴國政府カ右吾國ノ意ノ存スル所ヲ諒トヒラレ、之カ還付後其ノ運營ニ萬遺漏ナキヲ期シ、以テ中國ノ繁榮及發展ニ資セラルニ

於テハ日華永遠ノ親善關係増進ニ貢獻スルハ勿論益々協力ノ精神發揮ヒラレ直接共同ノ戰爭完遂ニ寄與スル所懶カラスト信スルモノニ有之候。

尙此ノ機會ニ本件租界還付實施ニ關聯シ日本側ノ希望並ニ見解ヲ別項ノ通り陳述致候ニ付、右ニ對スル中國側ノ意向ヲ御回示相成ルニ於テハ本使ノ欣悉トスル所ニ有之候。

本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。

昭和十八年三月十四日

在中華民國大日本帝國特命全體大使 董 光

葵

敬具

中華民國國民政部 外交部長 塗 謹 閣下

REEL No. A-1215

0132

アジア歴史資料センター

一、(一)租界還付ニ伴ヒ租界内公共施設ハ無償ヲ以テ中國側ニ移譲ヒラ
ルルモノナル處、調査ノ結果此等公共施設築造ノ爲日本居留民
團等カ借款ヲ記シ其ノ一部カ負債トシテ殘存シ居ルモノ存スル
コト判明シタル場合ニヘ、右磯存負債ノ處理ハ公共施設ノ移譲
ニ伴ヒ中國側ニ於テ適宜御考慮相成様致度シ。

天津ニ於テヘ日本居留民團カ租界隣接地ニ於テ道路ヲ築造シ其
ノ一部ハ未完成ナル壁右工事ヘ之カ完成ヲ見ル議御配慮相成度
ク、或ヘ中國側ノ委託ヲ請ケ從前通工事ヲ續行シ完成後之ヲ中
國側ニ移管スル方法ヲ講スル等現地兩國官憲間ニ於テ適當協議
ヒシムルコトト致度シ。

尙此等公共施設維持ノ爲ノ器具材料等ヲ中國側ニ移譲スル場合
ハ物件ノ讓渡ナルニ依リ施設ノ無償移譲トヘ別問題トシテ處理
スルコトト致度シ。

(二)租界還付ニ伴ヒ帝國政府又ヘ臣民カ有スル租界内土地ニ關スル
權利ハ之ヲ更改スル要アル處、右更改ハ還付ニ必然的ニ隨伴ス
ルモノナルニ付、之カ確認ノ爲ノ地券書換等ノ諸手續ハ無償又
ハ實費ヲ以テ御處理相成ルコトト致度シ。

從來租界内土地ニ關スル權利ヘ所在地ニ依リ其ノ態様ヲ異ニシ
複雜ヲ極メ居ル處、本來右權利ヘ實質ニ於テ同一ナルニ依リ、
此ノ際各地取極書ニ永租、租借、借地等ノ語句ヲ以テ規定ヒラ
レ居ル權利ヘ一律ニ之ヲ永租權トシテ確認相成様致度シ。

白　租界内永租地ニ對スル地租ハ急激ナガ変化ヲ避ケ細目取極第三

條ノ規定ニ基キ當分ノ間現行ノ率ヲ維持スルコトト致度シ。

二、(1)中國行政機構ノ一貫ヲ期スル目的ヲ以テ、還付實施後舊租界地域へ從來ノ如ク之ヲ特別行政區トスルコトナク所在都市ノ一般行政組織ニ編入スルコト致度ク、右ニ伴ヒ現在ノ特別區及將來還付ヒラルヘキ外國租界ニ付テモ同様ノ措置ヲ執ラルルコトト致度シ。

(2)日本居留民ト中國側地方官憲トノ間ノ意思疏通ヲ圖ルコトハ現地ニ於ケル兩國親善關係增進ノ爲極メテ重要ナルノミナラス中國側地方行政上モ裨益スル所歎カラサルヘキヲ以テ居留民團體代表者ト中國側當局者トノ間ニ定期的又ハ所要ニ應シ隨時懇談、

的會合ヲ開催ヒシムルコトト致度シ。

(3)租界内在住帝國臣民ノ居住、營業及福祉等ニ關シテハ一月九日ノ兩國間協定ニ於テ中國側ニ於テ從前ノ程度ヲ維持スヘキコトヲ保障ヒラレ居ル處、從來帝國政府ニ於テハ開埠地ノ範圍ハ當該都市ノ全範域ニ一致スヘキナリトノ見解ヲ有シ居リタルハ御知ノ通ニシテ租界還付ハ右帝國政府ノ見解ニ些モ變更ヲ生ヒシニ上ル實情ニシテ右ノ現狀ハ中國側ニ於テモ之ヲ御認識ノ七充分御考慮相成様致度シ。

專管租界還付實施ニ關スル細目取極調印ニ際シ
外交部長發在支大使宛公文譯文

以書翰啓上致候隙者本日附貴翰ヲ以テ

中華民國ニ於ケル帝國專管租界ノ還付ニ關シ本日日華兩國委員間ニ於テ其ノ實施細目取極ノ調印ヲ了スルニ至リタルヘ本使ノ最モ欣快トスル所ニ有之候。

中華民國ニ於ケル外國租界ノ撤廢ヘ貴國朝野多年ノ要望ニ係ルモノナル處、今回帝國政府カ其ノ專管租界全部ヲ還付スルニ至レルハ貴國カ東亞ノ一翼トシテ自主發展ヲ遂ケ帝國ト相携ヘテ東亞ノ復興建設ニ邁進ヒラレンコトヲ冀念スルノ衷情ニ出テタルニ外ナラズ。本使ヘ貴國政府カ右帝國ノ意ノ存スル所ヲ諒トヒラレ之カト信スルモノニ有之候。

尙此ノ機會ニ租界還付實施ニ關聯シ日本側ノ希望並ニ見解ヲ別項記載ノ通り陳述致候ニ付費部長ニ於テ右承知ノ上中國側ノ意向ヲ固示相成度

旨ヲ列別項ニ於テ

二、(一)租界還付ニ伴ヒ租界内公共施設ヘ無償ヲ以テ中國側ニ移讓ヒラルモノナル處、調査ノ結果此等公共施設築造ノ爲日本居留民團等カ借款ヲ起シ真ノ一部カ負債トシテ確存シ居ルモノ

存スルコト判明シタル場合ニハ右磯存負債ノ處理へ公共施設

ノ移讓ニ伴ヒ中國側ニ於テ適宜考慮相成致度シ。

天津ニ於テハ日本居留民國カ租界隣接地ニ於テ道路ヲ築造シ
其ノ一部ハ未完成ナル處右工事ハ之カ完成ヲ見ル様配慮相成
度ク、或ハ中國側ノ委託ヲ請ケ從前通工事ヲ續行シ完成後之
ヲ中國側ニ移管スル方法ヲ講スル等現地兩國官憲間ニ於テ適
當協議ヒシムルコトト致度シ。

尙此等公共施設維持ノ爲ノ器具材料等ヲ中國側ニ移讓スル場
合ハ物件ノ譲渡ナルニ依リ施設ノ無償移讓トハ別問題トシテ
處理スルコトト致度シ。

(二)租界還付ニ伴ヒ帝國政府又ハ臣民カ有スル租界内土地ニ關ス

ル權利ヘ之ヲ更改スル要アル處右更改ヘ還付ニ必然的ニ隨伴
スルモノナルニ付之カ確認ノ爲ノ地券書換等ノ諸手續ヘ無償
又ヘ實費ヲ以テ處理相成ルコトト致度シ。

從來租界内土地ニ關スル權利ヘ所在地ニ依リ其ノ態様ヲ異ニ
シ複雜ヲ極メ居ル處本來右權利ヘ實質ニ於テ同一ナルニ依リ
此ノ際各地取極書ニ永租、租借、借地等ノ語句ヲ以テ規定ヒ
ラレ居ル權利ヘ一律ニ之ヲ永租權トシテ確認相成致度シ。

(三)租界内永租地ニ對スル地租ヘ急激ナル變化ヲ避ケ細目取極第
三條ノ規定ニ基キ當分ノ間現行ノ率ヲ維持スルコトト致度シ。
二、(一)中國行政機關ノ一貫ヲ期スル目的ヲ以テ、還付實施後舊租界
地域ヘ從前ノ如ク之ヲ特別行政區トスルコトナク所在都市ノ

一般行政組織ニ編入スルコトト致度タ、右ニ伴ヒ現在ノ特別區及將來還付ヒラルヘキ外國租界ニ付テモ同様ノ措置ヲ執ラルコト致度シ。

(二)日本居留民ト中國側地方官憲トノ間ニ意思疏通ヲ圖ルコトハ現地ニ於ケル兩國親善關係增進ノ爲極メテ重要ナルノミナラス中國側地方行政上モ裨益スル所歎カラサルヘキヲ以テ居留民團體代表者ト中國側當局者トノ間ニ定期的又ハ所要ニ應シ隨時懇談的會合ヲ開催ヒシムルコトト致度シ。

(三)租界內在住帝國臣民ノ居住・營業及福祉等ニ關シテハ一月九日ノ兩國間協定ニ於テ中國側ニ於テ從前ノ程度ヲ維持スヘキコトヲ保障ヒラレ居ル處從來日本政府ニ於テヘ開埠地ノ範圍

ハ當該都市ノ全範域ニ一致スヘキナリトノ見解ヲ有シ居リタルヘ御承知ノ通ニシテ租界還付ヘ右日本政府ノ見解ニ些モ變更ヲ生ヒシムルモノニ非ス現在租界外ニ居住スル中國臣民ハ極メテ多數ニヒル實情ナルヲ以テ右ノ現狀ヘ中國側ニ於テモ之ヲ認識ノ上十分考慮相成業致度

ノ旨御申越ノ次第有之闇悉致候

查スルニ租界ノ回収ハ本國朝野ノ宿願ナルカ貴國政府ハ國民政府ニ對シ不斷ノ援助ヲ與ヘラレ居ル處今同更ニ全部ノ專管租界ヲ返還ヒラレ以テ兩國永遠ノ親善關係ヲ増進ヒラレ中國ヲシテ充分ニ發展シ東亜復興建設ニ協力スルヲ得シニラシムニハ國民政府ノ誠ニ感謝ニ

塔ヘサルトコロニシテ舊ツテ全力ヲ盡シテ共同戰爭ノ完遂及東亞新秩序建設ノ責任ヲ分擔シテ御厚意ニ副フヘク候貴翰別項所載ノ貴國側ノ希望及見解ハ既ニ閱悉致候其ノ中希望ノ各點ニ對シテハ國民政府ヘ固ヨリ贊同スルトコロニ有之候

右回答考本部長ヘ茲ニ重ネテ貴大使ニ向ツテ敬意ヲ表シ候 敬具

中華民國三十二年三月十四日

外交部部長 緒 民 詛

大日本帝國駐華
特命全權大使 重 光
葵 閣下

REEL No. A-1215

0136

アジア歴史資料センター

極秘 聞書

日本國政府ハ中華民國三十二年一月九日南京ニ於テ調印セラレタル
租界還付及治外法權撤廃等ニ關スル日本國中華民國間協定第五條文
及同年三月二十二日南京ニ於テ調印セラレタル北京公使館區域回收
實施ニ關スル日本國中華民國間細目取締ニ依リ同年三月三十日中華
民國政府カ北京公使館區域行政權ヲ回収スルコトヲ承認シ且日本國
政府ノ斡旋ニ依リ關係各國政府モ日本國政府ニ同調スル運ト相成タ
ルハ北京特別市長ノ感佩ニ堪ヘザル所ナリ

前記細目取締ト同日附テ以テ中華民國駐劄日本國特命全權大使ト中
華民國政府外交部長トノ間ニ交換セラレタル公文ニ於テ北京公使館
區域周邊ノ隙地ノ使用ニ關シテハ右カ在住者ノ福祉ニ關係スルコト
大ナルモノアルニ鑑ミ從來ノ慣行ヲ尊重シテ措置スヘキ旨取締メラ
レ居リ北京特別市公署トシテハ右交換公文ノ頼旨ニ基キ北京公使
館區域行政權回収後同區域周邊ノ隙地ノ使用ニ付テハ別添圖面ニ依
ルコトトスヘシ

中華民國三十二年三月三十日

北京特別市長 翁玉書(署名)印

REEL No. A-1215

0133

アジア歴史資料センター

北京公使館區域隙地使用方法

一、紀念碑

中國參戰及大東亞建設之記念スル爲メ將來獨逸側ト交渉シ舊墳國兵營跡東北隅ヲ利用シテ記念碑ヲ建設シ本隙地ノ中心タラシムル如ク措置ス

二、市民公會堂

市民ノ會合及運動選手等、宿舎ニ利用スル爲メノ公會堂ヲ舊獨逸練兵場ニ建設ス

三、北京市公署用地

本隙地ノ東側、日本練兵場ノ一部及佛廟練兵場ハ北京市公署用地トシ實際上日本軍ノ使用ニ充ツル如ク措置ス

日本軍以外ノ者ニ之ヲ一時使用セシムルトキハ日本軍ニ連絡ノ上

市公署ニ於テ許可スルモノトス

四、野外演奏場

新設北京市公署用地ノ略中央西側ニ新設シ發ホテ大會用指揮臺ヲラシム

五、運動場

日本側舊英國練兵場西北隅ヨリ西側小松園ニ至ル

中國側日本、伊國及舊英國練兵場ノ一部、舊獨廟練兵場ヲ充當ス

六、小公園

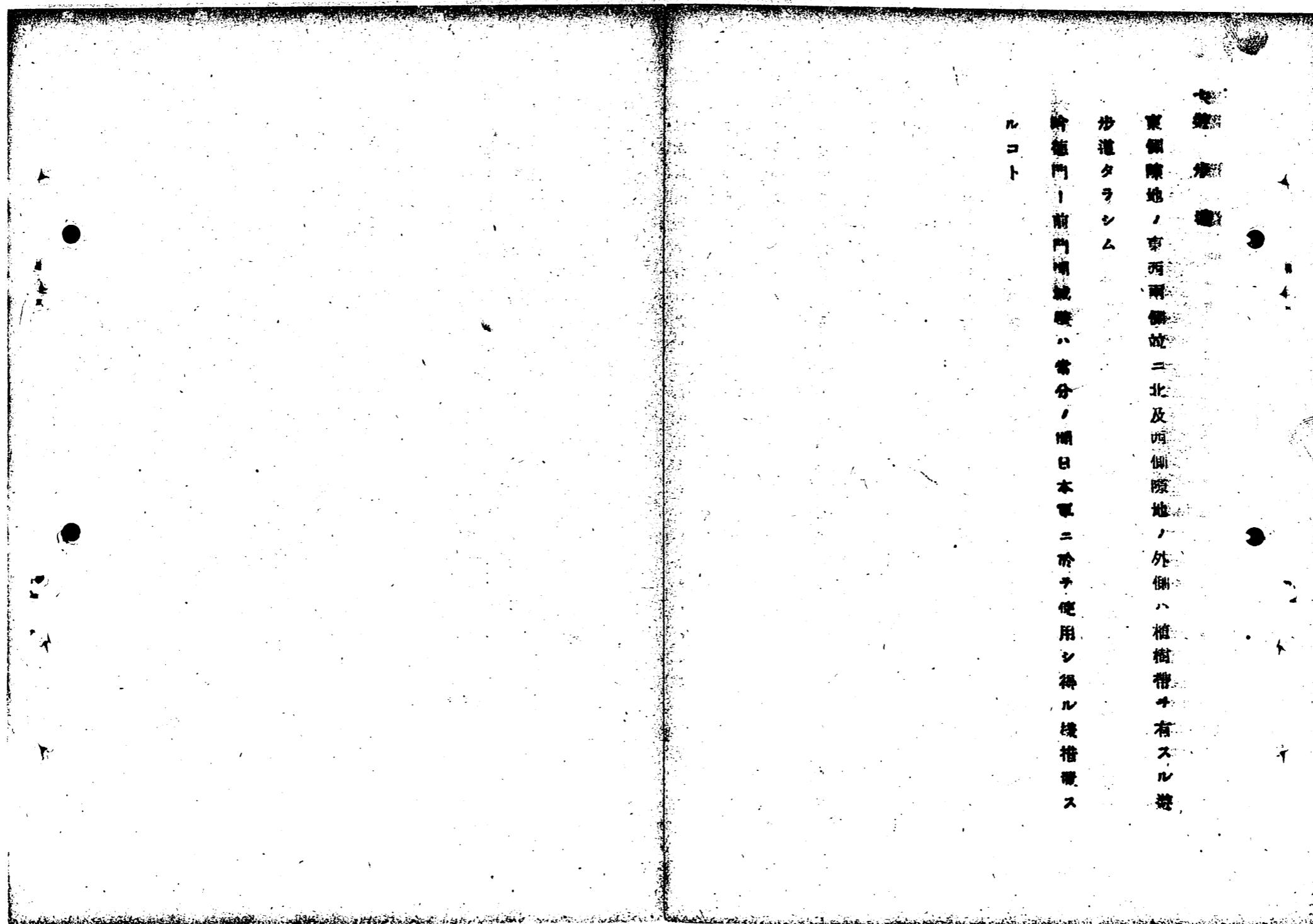
既設ノモ以外ニ本隙地北側道路ノ兩側及植樹帶、東側ニ地區充當ス

東側隙地ノ東西兩側並ニ北及西側隙地ノ外側ハ植樹帶ナ有スル處

歩道タラシム

輪郭門一前門兩輪郭ハ常分ノ端日本軍ニ於テ使用シ得ル様措置ス

ルコト



REEL No. A-1215

0141

アジア歴史資料センター

機密第六〇號

昭和十八年三月十七日

在中華民國大日本帝國大使館
特命全權公使 堀内干城

中華民國國政府行政院
副院長周佛海閣下

拜啓聞者浙東地區ノ政務處理ニ關シテハ同地方ハ尙作戰地域ナルモ成
ルヘク速ニ平常ニ復歸セシムトスル希望ヨリ來ル三月三十日ヲ期シ
左記要項ニ依リ御處理相成ルコトハ我方ニ於テハ極メテ歡迎スルトコ

ロニ有之候

記

一、三月三十日、國民政府還都記念日ヲ日達ニ浙東特別行政區、六縣一
餘姚、慈溪、鎮海、慈城、奉化、象山一二縣政ヲ施行シ浙江省政府
所轄トス右ニ伴ヒ浙東特別區行政公署ハ之ヲ廢止ス右地域行政實
施、圓滑ナ期スル爲當分、間寧波ニ浙江省政府辦事處ヲ設置ス

前項ニ準シ上虞及定海ノ二縣ニ縣政ヲ施行ス
二、金華地區（新昌、嵊兩縣ヲ含ム）ニ付テハ四月末金華ニ浙江省政府
辦事處ヲ設ケ六月末縣政ヲ施行ス

備考

舟山叢島（定海縣）並鎮海縣力軍事上重要地點ナルニ鑑ミ當分、
間民心、動搖ヲ防キ作戰警備ヲ容易ナムシムル爲現狀ニ急徵ナル

REEL No. A-1215

0142

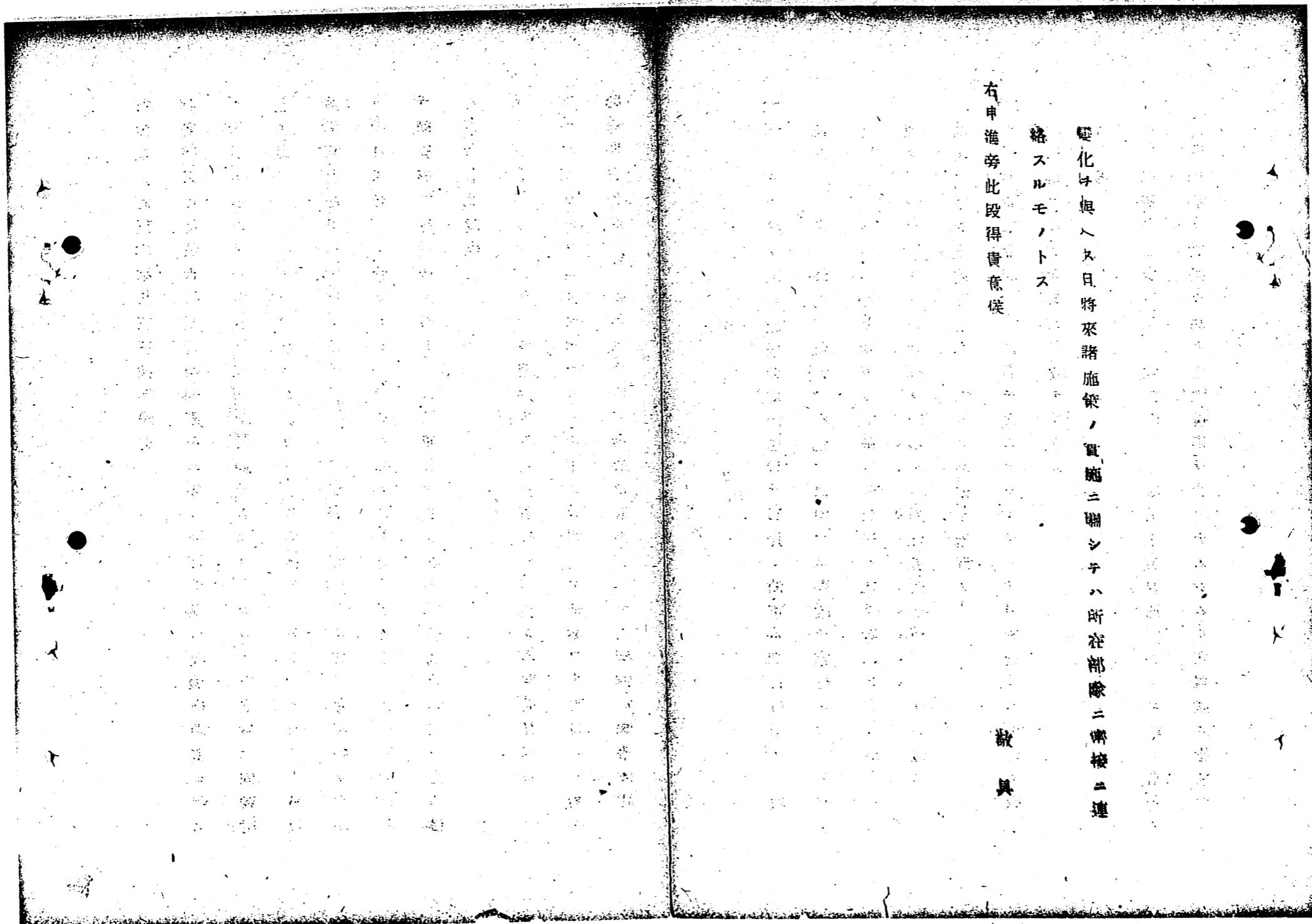
アジア歴史資料センター

變化ニ與ヘヌ日將來諸施策、實施ニ關シテハ所在部隊ニ連絡ニ連

絡スルモノトス

右申進旁此段得貴意候

敬具



REEL No. A-1215

0143

アジア歴史資料センター

行政院公函行字第八三三號邦譯文

拜讐陳者極秘第六〇號貴翰御來示ニ係ル浙江地區行政機構調整ニ關ス
ル貴見ニ對シテハ本人ノ極メテ贊同ヲ表スルトコロニ有之候。同翰附
記ノ第一項ニ付テハ、既ニ本院ヨリ浙江省政府ニ對シ、本月三十日以
降浙東行政公署所轄、餘姚、慈谿、鎮海、慈谿、奉化、象山等、六縣
于浙江省政府ノ管轄ニ歸シ、該六縣ノ外上虞、定海ノ二縣ヲ追加シ之
于閩省第一行政督察區トナス様通令シ並ニ浙東行政長官ニ對シ之力達
奉方命令致置候。

又附記第二項ニ付テハ四月ニ入リ浙江省政府ニ對シ本件措置方略令致
スヘク尙又備考ニ記載セラレタル事項ニ對シテモ素ヨリ贊同ニテ既ニ
關係地方各部官憲ニ右達奉方命令致置候。仍テ右様御承知相成度此

段回答得貴意候

敬具

中華民國三十二年三月二十日

中華民國國民政府
行政院副院長 周佛海

日本帝國大使館
特命全權公使 堀内干城閣下

REEL No. A-1215

0144

アジア歴史資料センター

機
械

廈門地方調整ニ關スル在支大使發外交部長宛公文

以臺灣等上教矣。據者、廈門日本專管租界ノ邊付ニ關シテハ既ニ之、
カ網目製臺等ノ調印ヲ了シ、又該邊境共同租界ノ回取承認ニ付テモ
近ク之カ取締ノ調印ヲ見ルノ運ヒト相成リタルハ同邊ニ堪ヘサルト
コロニ候。

就テハ此ノ際廈門地方ト中央政府トノ關係調整ヲ計ランカ爲別項ノ
通リ傳達教表。右ハ臺都三週年紀念日迄ニ實施致候キニ付、中國側
ノ意向タルヘク遠ニ範囲示相成ルニ於テハ本使ハ欣幸トスルトコロ
ニ有之候。

本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ同テ敬意ヲ表シ候。

啟具

昭和十八年三月二十六日

蔡(印)

在中華民國
大日本帝國特命全權大使

中華民國
外交部部長 潘 謙

光

REEL No. A-1215

0145

アジア歴史資料センター

別項

一、廈門市ヲ行政院直屬ノ特別市トスルコトニ付異存ナシ。

二、廈門市ニ於ケル日華商事協力及經濟提携ニ關スル專項ニ付圓滑

ナル地方的處理ヲ行ヒ得ル如ク必要ナル措置ヲ講セラレ度シ。

尙現ニ有效ナル諸取極ハ前記ノ遠旨ニ基キ締結セラレタルモノナ

ルニ付之ヲ承認セラレ度シ。

三、現廈門特別市職員ハ現地ノ事情ニ即シ行政實施ノ圓滑ヲ期スル爲

蓋當リ新舊別市ノ職員トシテ之ヲ引繼カレ度シ。

之カ等細ニ陳シテハ別途協議スルコトト致度シ。

廈門地方調査ニ關スル外交部長江支大使局公文譯文

以臺灣海上航行線者本日附貴輪ヲ以テ廈門日本等管轄界ノ邊付ニ開
シテハ既ニ之カ細目收載等ノ調印ヲ了シ又廈門該港與共同管轄ノ回
收承認ニ付テモ近ク之カ取極ノ調印ヲ見ルノ運ト相成タルハ實ニ岡
斐ニ堪ヘサルトコロニ候

就テハ此ノ際廈門地方ト中央政府トノ關係調査ヲ計ランカ爲別項ノ
通リ東述啟候右ハ遠部三週年紀念日迄ニ實施致度ニ付右承知ノ上中
國側ノ意向成ルヘク速ニ回示相成候

旨並別項ニ於テ

一、廈門市ヲ行政院直屬ノ特別市トスルコトニ付異議ナシ

二、閩門市ニ於ケル日華間軍事協力及經濟交換ニ因スル事項ニ付關照
ナル如方的處理ヲ行ヒ得ル如ク必要ナル措置ヲ講セラレ度
尙現ニ有效ナル點取扱ハ前記ノ趣旨ニ基キ締結セラレタルモノナ
ルニ付之ヲ承認セラレ度

三、現閩門等別市職員ハ現地ノ事情ニ即シ行政實施ノ圓滑ヲ期スル爲
善當リ新特別市ノ職員トシテ之ヲ引繼カレ度之カ詳細事項ハ別途
備考スルコトト致度

右回答旁本部長ハ茲ニ重ネテ會大使ニ向ツテ教諭ヲ表シ承 教具
テハ同様致候

中華民國三十二年三月二十六日

外交部部長 異 民 調

大日本帝國駐華
特命全權大使 重 光

REEL No. A-1215

0149

アジア歴史資料センター

機密

廈門鼓浪嶼共同租界回收實施ニ關スル取締調印ニ際シ
在支大使發外交部長宛公文

以書翰啓上致候。前者、廈門鼓浪嶼共同租界回收ニ關シ本日閣下ト
本使ト、間ニ其、實施ニ關スル取締、調印キ了スルニ至リタルハ本
使、最モ欣快トスル所ニ有之候。

此、機會ニ本件回收實施ニ關聯シ、日本側、希望茲ニ見解ヲ左ニ申
述フルノ光榮ヲ有シ候。

一、廈門鼓浪嶼共同租界回收ニ伴ヒ帝國政府又ハ臣民カ有スル當該地
域内土地ニ關スル權利（永租、租借、借地等）ハ一律ニ之キ永租
權トシテ御確認相成様致度ク、右確認ノ爲ノ地券發給等、手續ハ
無償又ハ實費ヲ以テ御處理相成ルコトト致度シ。

尙前項土地ニ對スル地租ニ付テハ取締第三條ニ經リ治外法權ニ基
ク課稅問題、處理ヲ見ルニ至ル迄現狀ヲ維持スルコトト致度シ。
二、回收實施後當該地域ハ之ヲ特別行政區トスルコトナク廈門特別市
、一般行政組織ニ編入スルコトト致度シ。

三、了解事項八、所定、寄附金額ハ日華當該始方官憲、協議ニ依リ決
定スルコトト致度シ。

右諸問題ニ關スル中國側ノ意向ヲ御回示相成ルニ於テハ本使ノ欣幸
トスル所ニ有之候。

本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候。敬具

昭和十八年三月二十七日

REEL No. A-1215

0148

アジア歴史資料センター

中華民國國民政府
外交部部長 褚

在中華民國
大日本帝國特命全權大使 重光葵
民 詛 閣下

REEL No. A-1215

0143

アジア歴史資料センター

廈門鼓浪嶼共同租界回收實施ニ關スル取締印ニ附シ
外交局長簽在支大使領公文譯文

以參證答上致候者本已照實驗チ以テ

「廈門鼓浪嶼共同租界回收ニ關シ本日貴郵長ト本使トノ間ニ其ノ實施
ニ關スル取締、請印チ了スルニ至リタルハ本使、最モ欣快トスル所
ニ有之候。」

此ノ機會ニ本件回收實施ニ關聯シ、日本側、希望並ニ見解ヲ左ニ申
述ヘ候。

一、廈門鼓浪嶼共同租界回收ニ伴ヒ帝國政府又ハ臣民カ有スル當該地
域内土地ニ關スル權利（永租、租借、售地等）ハ一律ニ之ニ永租
權トシテ確認相成様致度タ、右確認、爲ノ地券發給等ノ手續ハ無

償又ハ賣費ヲ以テ處理相成ルコトト致度シ。

尙前項土地ニ對スル地租ニ付テハ取極第三條ニ據リ治外法權ニ基
ク課稅問題、處理ニ見ルニ至ル迄現狀ヲ維持スルコトト致度シ。

二、回收實施後當該地域ハ之ニ特別行政區トスルコトナク廈門特別市
、一般行政組織ニ編入スルコトト致度シ。

三、了解事項八、所定、寄贈金額ハ日華當該地方官憲、協議ニ依リ決
定スルコトト致度シ。

右諸問題ニ關スル中國側、意向ヲ回示相成度」

旨御申越ノ次第有之關係致候查スルニ貴國側力我國、廈門鼓浪嶼共同
租界ノ回收ニ同意セラレタルハ國民政府ノ誠ニ感謝ニ堪ヘサルトコロ
ニシテ貴輿所述ノ希冀ノ各節ニ對シテハ固ヨリ贊同スルトコロニ有之

候

右回答旁本部長ハ茲ニ電ネテ農大綱ニ向ツテ敬意ヲ表シ候

中華民國三十二年三月二十七日

外交部部長

褚民誼

大日本帝國駐華特命全權大使 重光葵

閣下

以書翰啓上候 陳者昭和十八年一月九日南京ニ於テ調印セラレタル租界
還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定第四條並ニ昭和十
八年三月二十七日南京ニ於テ調印セラレタル閩門鼓浪嶼共同租界回收實
施ニ關スル取締ニ基キ本日閩門鼓浪嶼共同租界行政權ノ還付ヲ實施スル
コトト相成候

右申達事々茲ニ關下ニ向ツテ重ネテ敬意ヲ表シ候
昭和十八年三月三十日

敬具

大日本帝國總領事 赤堀 鐵吉

中華民國廈門特別市
市長 李思贊
關下

REEL No. A-1215

0152

アジア歴史資料センター

以書翰啓上致候 陳者昭和十八年一月九日南京ニ於テ調印セラレタル
租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定第一條及第
二條並ニ昭和十八年三月十四日南京ニ於テ認印セラレタル專管租界還
付實施ニ關スル細目取締ニ基牛本日廬門ニ於ケル日本專管租界還付手
實施スルコトト相成候尤モ廬門ニ於テハ前記三月十四日ノ細目取締ニ
規定セラレアル諸施設設立ニ物件ニシテ閣下ニ引渡スヘキモノ無之又還
付後ノ行政實施ニ必要ナル文書記錄及職員等ニシテ此際引續チ要スル
モノハ無之次第二候

右申准拝々特ニ閣下ニ向ツテ敬意チ表シ候

敬具

大

日本帝國總領事 赤堀 鐵 吉

昭和十八年三月三十日

中華民國廬門特別市

市長 李思賢

閣下

REEL No. A-1215

0153

アジア歴史資料センター

告示第二十三號

昭和十八年一月九日南京ニ於テ譲印セラレタル租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定第一條及第二條ニ基キ昭和十八年三月十四日南京ニ於テ中華民國駐劄帝國特命全權大使ト中華民國國政府外交部長トノ間ニ中華民國ニ於ケル日本專管租界還付實施ニ關スル細目取締調印セラレ右租界行政權還付ノ實施ハ昭和十八年三月三十日ト定メラレタルニ依リ本日廈門特別市市長ニ對シ廈門日本專管租界ノ引渡チ了セリ

右告示ス

昭和十八年三月三十日

在廈門
總領事
赤堀鐵吉

REEL No. A-1215

0158

アジア歴史資料センター

行政院訓令邦譯文

民國三十二年四月一日

廈門特別市政府ニ令ス

福建廈門市ハ之ヲ廈門特別市ニ改ムヘキ旨ノ國民政府令ヲ奉ス。該市ハ地衝要ニ位シ、友邦人士トノ往來頻繁ニシテ貿易居留ハ素ヨリ親睦ヲ稱シ來レリ。茲ニ大東亞戰爭ニ參加ノ際ニ當リ友邦ヨリ同市專管租界及鼓浪嶼共同租界ノ移管ヲ承ク。右ハ友邦力我國ノ獨立完成ヲ援助セントスル熱誠ヲ示スモノニシテ同市市民ハ和平建國ノ大義及參戰ノ重大使命ヲ一層認識シ各々本分ニ就キ努力スヘク特ニ友邦人士ニ對シテハ信ヲ講シ睦ヲ修メテ甘苦ヲ同フシ死生ヲ共ニスルノ精神ヲ貫徹スヘシ。同市市長ハ督導ノ責アリ同市一切ノ興革事項

ニ對シテハ務メテ廉潔勇敢ナル精神ヲ以テ妥當ナル處理ヲ行ヒ且友邦日本トハ全面的ニ協力シ以テ睦誼ヲ敦フシ福祉ヲ増加ゼンコトヲ切望ス。

尙今後ノ處置情況ニ付テハ隨時報告書ヲ提出セラルヘシ。

此二令ス

極秘

蘇滬特別區ノ調整ニ關スル件(密)

昭和十八年二月十九日
大東亞省支那事務局

對支處理新方針ニ基ク蘇滬地區ノ調整ハ歲末明年一月一日ヨリ實行共
ニ國民政府實踐地域タラシムル如ク元記各項ニヨリ實施スルモノトス

左記

一、蘇滬特別區へ當分ノ間之ヲ存續スルモノトス

二、本地域ノ通貨ハ差等リ聯銀券、聯銀券併用トスルモノ明年一月一日以
後ハ皆統一色トスル如ク指揮ス

之ガ馬鹿ニ聯銀券ト聯銀券トノ間ノ交換比率ヲ定メ蘇滬地區ニ於ケ
ル儲蓄券ノ流通面ノ擴大ヲ圖ル

三、本地域ニ於ケル食糧、農產品ノ收買ハ本年中ハ從前通りトスルモノ明年
一月一日以後ハ中支側ニ於テ之ニ當ル如ク措置ス

本地域ニ於テ中支側ノ收買シタル食糧、農產品ニ付テハ之ガ華北ヘ
ノ供給ヲ確保ス

之ガ數量及供給方法ハ別途定ムルモノトス

四、本地域ニ於ケル經濟關係事項ノ處理ニ關シテハ國民政府ハ蘇滬特別
ヨリ中支那銀行株式會社ノ子會社ニ相應フルモノトス

五、敵攻、放送其ノ地調査ヲ要スル專員ハ成ルベク速ニ調整スルモノト
ス

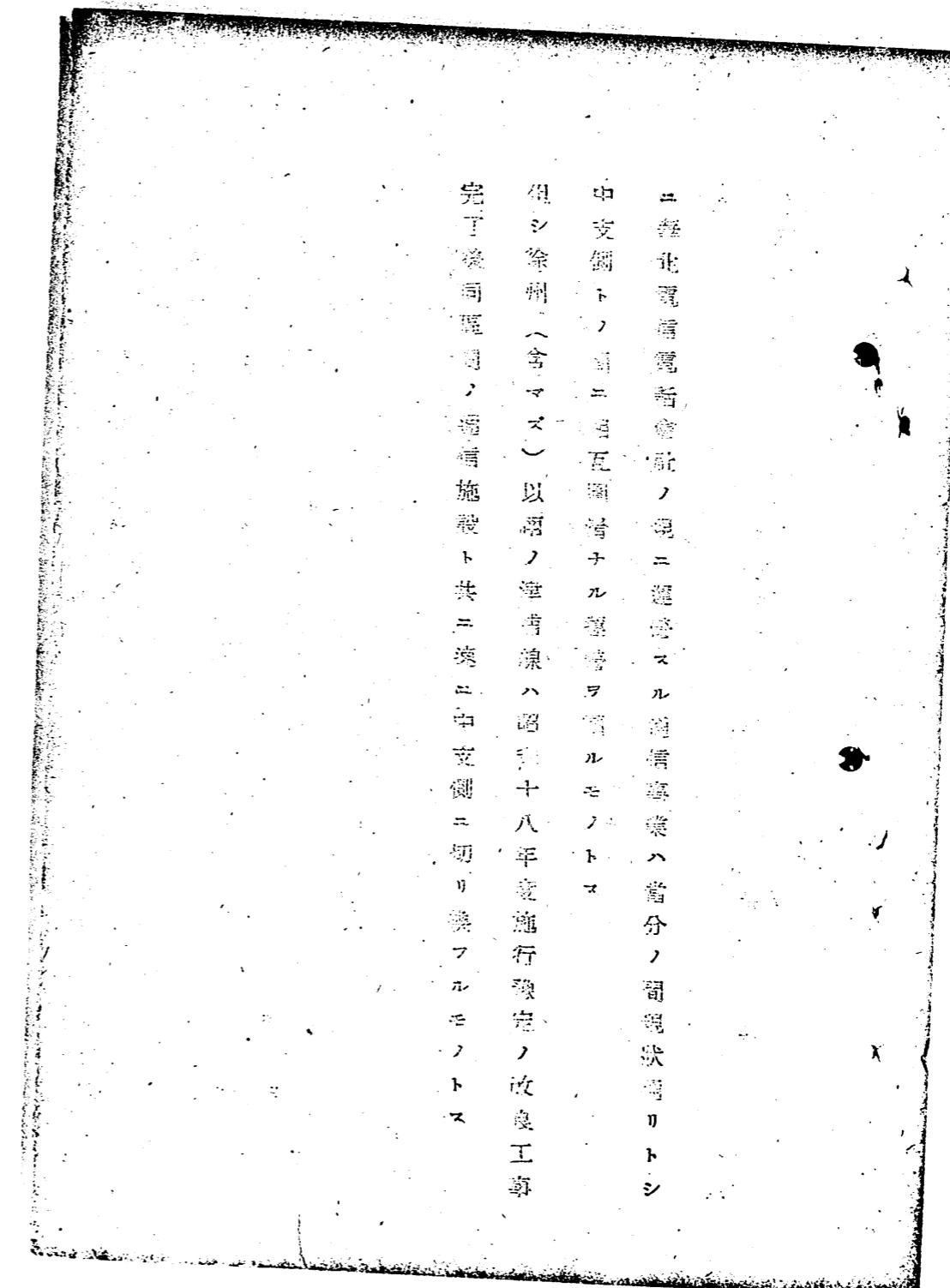
附記

華北交通會社ノ場ニ運輸スル鐵道、輪船、水道及自駕車輛等事業並

REEL No. A-1215

0159

アジア歴史資料センター



昭和十八年二月七日

對支處理新根本方針二三事

駐蒙軍司令部

158

アジア歴史資料センター

REEL No. A-1215

第一 方 针

對支處理新根本方針ノ有效適切ナル具現ヲ期シガ爲蒙古政府之政務力
ノ強化及之ガ地方施政ニ對スル政治ノ實務ヲ一層助長促進スルト共ニ
日華基本條約及附屬諸取極メニ反セザル範圍ニ於テ勉メテ國民政府ト
ノ間相互ノ調整ヲ圖リ又華北トノ經濟的關聯性ヲ特ニ緊密ナラシム

第二 要 領

一、蒙古政府ト國民政府トノ關係ノ調整

蒙古政府ヲシテ日華基本條約及附屬諸取極メニ反セザル如ク指導シ
國民政府トノ間ニ摩擦相剋無カラシメルソミナラズ進ンデ融和的雰
圍氣ノ醸成ヲ圖ラシム

之カ爲特ニ日本側ニ於テ仲介斡旋シ兩者ノ感情ヲ直接衝突スルロト

ナカラシムル如ク勉ムルモノトス

(一) 國 旗

蒙古ニ於テハ國民政府ノ青天白日旗ハ使用セザルモ蒙古旗ハ青天

白日旗ト對立的ナ場所或ハ對立的形式ヲ以テ使用セシメス

(二) 國民政府ト蒙古政府トノ連絡

當分現狀ヲ維持シ特ニ連絡交渉等ノ必要トスル場合ハ日本側ニ於
テ之ヲ斡旋シ感情ノ衝突等ヲ惹起セザル如ク指導ス

(三) 其ノ他

中央ト在蒙日本側トノ連絡ヲ一層密ニシ國民政府ト蒙古政府トノ
間ニ於ケル相剋乃至摩擦ノ發生ヲ未然ニ防止ス

二、蒙古政府治力ノ強化

(一) 治安ノ確立

1. 蒙古政府ヲシテ自ラ疆内ノ治安確立ニ任セシムルノ外日本軍ノ作戦討伐ニ膺接シテ武力ノ立派ニ依ル政治力ノ推進擴大ヲ更ニ一層積極的ナラシム

2. 蒙古政府ヲシテ其警備力ノ強化ヲ促進セシメ以テ日本軍ヲシテ成ルヘク遠ニ分散配置ヨリ集結態勢ニ轉移セシメ得ル如クス

(二) 政治責任ノ確立

1. 蒙古政府ノ自發的活動ヲ促進スルト共ニ現地人官吏ノ責任ヲ一層明確ナラシム

2. 省盟特別市公署以下ノ地方政府人事ニ關シテハ蒙古政府側ノ自由處置ニ任ジ日本側ハ魏イオ之ニ干涉セス

3. 省盟特別市公署以下ノ施政ニ關シ日本軍ノ指導乃至要求ハ作戦參備ニ關スルモノニ限定サレ且軍司令部ニ於テ行フ日本側トス

4. 日本側ハ蒙古政府政令ノ貫徹ヲ助長シ施政ノ中絶分斷セザル如クス

5. 特務機關ノ草原蒙古ノ盟以下ニ對スル政務内面指導ヲ中止ス

6. 治外法權ノ撤廢

(三) 故産處理

(註) 6. 7. 項ニ關シテハ中央ノ方針ニ基キ蒙古トシテ所要ノ準備ヲ進ム

8. 日系官吏ノ人事
日系官吏ハ小數精銳主義ノ從來ノ方針ヲ堅持シ已ムヲ得ザル技術

著シ機会加少外現在現地系事務所等の現地人ヲシテ積極的ニ活動セシム可及的速ニ必要範囲ニ物産ス

三、經濟施策ノ改善

(1) 現地經濟力ノ活用

所有現地經濟方創意トヲ活用シ特ニ現地人ヲシテ積極的ニ活動セシムル如ク施策ス

(2) 軍需物資及物動物資ノ收買取得

軍需物資及物動物資ノ收買取得ハ適正價格ニ據リ且勉メテ現地人及其組織ヲ活用ス

(3) 企業及交易ニ於ケル日本側獨占ノ抑制

一般企業並ニ一般物資ノ交易ニ關シ日本側ノ獨占的傾向アル部面ヲ

速カニ調整ス

(4) 蒙古ト華北間ノ經濟的緊密化

蒙古ト華北間ノ經濟的緊密化ニ就テ八日下兩者研究協議シアルヲ以テ別途具體的ニ決定ス

極秘

30
50

上海共同租界回収實施措置要領

(昭和十八年二月二十四日
大本營政府連絡會議了解)

第一、方針

上海共同租界行政權ノ支那側ニ依ル回収實施ハ、「租界遠付及治外法權廢止ニ關スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ從ヒ「大東亞戰爭完遂ノ爲ノ對支贏得根本方針」ノ宗旨ヲ具現スル如ク其ノ措置内容ヲ定ムルモノトシ回収實施ノ時期ハ本年七月末ヲ目途トス

第二、要領

措置要領ハ總木左ニ述據スルモノトス

甲、措置内容綱要

「共同租界行政權

イ、共同租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ於テ回収スルコトヲ承認セルニ由リ上海共同租界土地章程及同様則等ニ基キ從來工部局ノ行使シ來レル一切ノ行政權（越界路管轄權ヲ含ム）ハ支那側ニ於テ回収スルモノトスルコト

口、右ニ伴ヒ

- (1)舊共同租界工部局職務（敵性個人ヲ除ク）ハ協議ノ上必要ナル範圍ニ於テ支那側ニ引継キ主トシテ舊租界（越界路管轄權ヲ含ム）ニ隸屬アル行政部門ニ活用スルモノトスルコト
- (2)舊共同租界工部局ニ屬シタル一切ノ公共施設並ニ資產負債ハ

支那側ニ於テ繼承スルモノトスルコト

(3) 舊共同租界工部局ノ丈量類ハ支那側ニ於テ引継チ受ケルモノ
トスルコト

二、不動產ニ關スル權利

舊共同租界内（舊域界路地區ヲ含ム）ニ於ケル土地建物等不動
產ニ關スル各國及各國人ノ權利利益ノ享受チ維持スル爲所要ノ
措置ヲ講スルコト（但シ敵產處理ニ付テハ既定方針ニ依ルコト
外國人名義ナルモ事實上支那人ニ同スル土地建物等ニ付テハ當
該支那人ノ正當利益保護ニ遺憾ナカラシムルコト

三、新上海市ノ華埠區域及行政機構等

共同租界行政權回收及上海佛租界還付實施後ノ新上海市ノ管轄
區域及行政機關等ニ付テハ支那側ヲシテ減ネ左ノ如ク措置セシ
ムルコト

イ、舊共同租界、舊域界路地區及舊佛租界ハ新上海市ニ編入シ
新上海市ノ管轄區域ハ右ノ外張狀述トスルト共ニ新上海市政府
管下ノ區ハ現木現狀ニ從ヒ市中心區、浦北區、鴻西區、南市區、
浦东東區、浦東北區、鞍山區、嘉定區、世紀區、奉賢區、南匯
區、川沙區及崇明區トシ得共同租界、舊域界路地區及舊佛租界
ト從來ノ市中心區ハ合併シテ新ナル市中心區トシ得共同租界
區ハ浦西區ニ合併セシムルコト（但シ支那側ノ希望アルニ於テ

ハ事變後編入セラレタル鄉村地區中嘉定區、北匯區、奉賢區、南匯區、川沙區及崇明區ニ付テハ之ヲ市管轄區域ヨリ除外スルヲ認ムルコト)

一ロ、新上海市政府ノ中樞部組織中華租界（舊越界路地區ヲ含ム）ノ行政ニ隸属アル部門ヲ整備スルト共ニ從來ノ市中心區公署、其司租界工部局及佛租界公董局ヲ官治組織ノ下ニ實情ニ期スル如ク逐塊統合シテ新市中心區公署ヲ設置スルコト（但シ東方ハ市政府辦事中日本人乃至外國人ノ參加セル專別ノ該決機關ノ設置ヲ要求スルコトナシ）

ハ、日華協力ノ實現上特ニ上海ノ占ムル重要ナル地位ニ鑑ミ日

華協力具現ノ篇

- (1) 日本人經濟顧問並ニ所要ニ應シ技術顧問ヲ招聘スルコト
- (2) 在留日本人ノ居住、營業及福祉等ニ特ニ關係深キ施設方面（監察、財務等ヲ主トス）ノ要部ニ少數ノ日本人高級職員（同一配置ニ日薪各一人ヲ以テスル複式職員ヲ考慮ス）ヲ配シ主トシテ工部局ヨリ引連キタル職員ヲ以テ之ニ充ツルコト
- (3) 正式ノ取極ニ於キ市政府當事ト民國當局トノ間ニ日華通商懇談會（假釋）ヲ設立スルコト

右連絡懇談會會合ニハ市政府側ヨリ主トシテ市長、秘書長、西中心區公署長、を中心區公署總務部長（假釋）等、民國側ヨリ

ハ主トシテ民團長、助役、民會謹長、民會副謹長等出席スルモノトスルコト

市政事項中 在留日本人ノ居住、營業及福祉等ニ關係アル事項ニ付テハ右會合ニ於テ隔意ナキ懇談ヲ遂タルモノトスルコト
右會合ハ定期的又ハ所要ニ應シ隨時開催スルコト

(註) 日本側出席者ノ發言ハ在上海帝國公使ノ指導下ニ統制

サルヘキモノトス

(二) 民團ニ涉外部長(假稱)ヲ置キ本會合ニ附スル事務ヲ
主管セシムルコトヲ豫想ス

ニ、新上海市政府廳舍本館ハ舊租界内ニ移スコト

四 舊租界在住者ノ居住、營業、福祉等

イ、支那側ヲシテ舊租界(舊越界地圖ヲ含ム)ニ於ケル施政ニ當リ在住者ノ居住、營業及福祉等ニ關シ尠クモ從前ソ程度ヲ維持セシムルコト

ロ、右ニ對唯シ舊租界(舊越界地圖ヲ含ム)内日本人其他治外法權國人ヨリ治外法權ニ基ク課稅問題ノ處理ヲ見ルニ至ル迄未從來ノ租界賦課金類ヲ支那側ニ寄附スル加ニ所要ノ措置ヲ講スルコト

五 公共事業

租界内ニ於ケル營業タル公共事業(電力、電話、水道、瓦斯、

「バス」、電車等)ノ處理ニ付テハ新上海市ノ財政的基礎ヲモ
考慮シ合辦事業調整ト併セ適當ノ措置ヲ講スルコト

乙、支那側トハ細目取締
共同租界回収實施ニ關シテハ前記甲ニ概定セラレタル各項ノ趣
旨ヲ實現スルコトヲ目的トシ石ノ中支那領ト協議決定ヲ要スル
モノニ付細目取締ヲ締結スルコト

丙、第三國關係

關係第三國(伊國、佛國、西國、葡國、丁抹國、瑞典國、瑞西
國)ニ對シ支那側ニ依ル共同租界回収ヲ承認セシメ我方施策ニ

同調セシムルコト

丁、上海佛租界關係

上海佛租界處理ニ關シテハ前記共同租界回収實施措置要領ニ應
シ所要ノ施策ヲ爲スコト

備考

一、日華基本條約附屬秘密交換公文(甲)及「日支新關係調整
ニ關スル協議書類」附屬秘密諒解事項(第五)ニ定メタル
日華經濟協議會ノ設置等ニ付テハ將來適當ノ時機ニ考慮ス
ルモノトス

二、共同租界進駐後帝國陸海軍ニ於テ發シタル佈告等ニシテ本
要領ト抵觸スルモノハ所要ノ措置ヲ講スルモノトス

國民政府ト廈門特別市トノ關係調整要領

(昭和十八年二月二十四日
大本營政府連絡會議了解)

極秘

- 一、現廈門特別市ハ國民政府ノ市組織法及日華基本條約秘密附屬交換公文(甲)ニ基キ行政院直屬ノ新特別市トシ日華間軍事協力及經濟提携ニ關スル事項ニ付テハ圓滑ニ地方的處理テ行ヒ得ル如ク國民政府チシテ措置セシムルモノトス
- 二、現廈門特別市ノ職員ハ成ルヘク新特別市ノ職員トシテ之ヲ引繼クモノトス

- 三、從來廈門特別市ト日本側トノ間ニ締結セラレタル諸取扱ハ日華基本

本條約及附屬諸取扱ノ規定ト抵觸スルモノハ之ヲ廢止又ハ修正スルノ外舊廈門特別市政府ノ辨シタル事項ノ一般的調整ハ日華基本條約附屬議定書ノ規定ニ依リ處理スルモノトス

四、前記諸項ノ調整ハ鼓浪嶼共同租界同敷實施ト共ニ本年三月三十日迄ニ實施スルモノトス

極秘

30
30

廈門鼓浪嶼共同租界回收實施措置要領

(昭和十八年二月二十四日
大本營政府連絡會議了解)

第一、方針

廈門鼓浪嶼共同租界行政權ノ支那側ニ依ル回収ノ實施ニ付テハ「租界
還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定」ノ本旨ニ從ヒ
「大東亜戰爭完遂ノ爲ノ對支處理根本方針」ノ趣旨ヲ具現スル如ク其
ノ措置内容ヲ定ムルモノトシ回収實施ノ時期ヘ本年三月三十日ヘ國民
政府還都記念日一チ目途トス

關係第三國ヲシテ右ニ同調セシム

第二、要領

措置要領ハ概モ左ニ準據スルモノトス

甲、措置内容概定

一、共同租界行政權

イ、共同租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ於テ回収スルコトヲ承認
セルニ由リ廈門鼓浪嶼共同租界土地章程ニ基ク租界行政權ハ總テ支
那側ニ於テ回収スルト共ニ工部局ハ之ヲ解消スルモノトシ舊租界行
政ハ廈門特別市ノ行政組織系統ノ中ニ統合セシムルコト
ロ、右二件ヒ

(1) 舊工部局職員ハ差當リ支那側ニ於テ引繼チ受クルモノトスルコト
(2) 舊工部局ニ屬シタル一切ノ公共施設並ニ資產負債ハ支那側ニ於テ

REEL No. A-1215

0168

アジア歴史資料センター